

生活科部門

総評

今年も植物や昆虫の観察を記録する作品が多く集まりました。生き物への愛着がよく伝わってくる作品が多く、子どもの感受性の豊かさに感心しました。生活科においては、自分とまわりの社会・自然とのかかわりを見つめる「ふりかえり」が出来ているかが重要で、単なる観察に終わらず、自分の考えをまとめている作品が受賞しています。環境に対する意識の高まりが見られる作品も増えてきました。また、インターネットで調べたことを書いたものや、画像を印刷して貼ったものもみられました。調べる手段が増えたことはよいのですが、その材料を自分の作品にどう結びつけるか、どう活かすかを考えることも大切です。

賞 文部科学大臣奨励賞

カイコの一生

東京都 白百合学園小学校 2年
笠松 真子

カイコの卵をインターネットで注文した真子さん。カイコのふ化、まゆ作り、産卵などの成長過程を写真つきで丁寧にまとめています。どの道具を使えばまゆ作りのときに糸をはきやすいか、というユニークな実験にも取り組みました。「カイコはやはりかかくでした。人間の手をかりないと生きられませんが」とまとめています。そんなカイコだからこそ、温度・湿度や、えさやりなどに気を配って世話をしてきた真子さんの様子がよく分かる力作です。

カイコの一生

表紙はゆめを添った絵です。まゆのふ化の様子も伝えています。

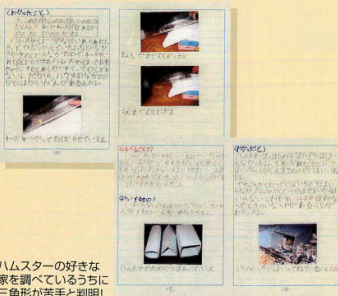


賞 子どもの文化・教育研究所 理事長賞

ほくのかわいいハムスターのひみつ

岐阜県 揖手川町立谷汲小学校 1年
竹中 仁哉

今年の3月からハムスターを飼いはじめた仁哉さん。ハムスターの「生活」(習性)にスポットをあて、様々な実験に取り組みました。「ハムスターはどれくらいのはやさはいるのか」「ハムスターはさかのぼることができるか」など、ユニークな実験が多くありました。使用した実験器具のほとんどは、何と手作り! ハムスターに対する仁哉さんの愛情が伝わってきます。



賞 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長賞

おきくぼ たんけんノート

東京都 白百合学園小学校 2年
青柳 純

去年は「きんじょたんけんノート」でしたが、今年は「探検市」に行動範囲を広げて「バウアッパ」した作品を届けてくれました。「おんせんバトロールカー」のしゃんをとろとして毎日カメラをもって歩いてたけれど、うまくいかなかったという苦勞話からは、シャッターチャンスを逃すまいとする純さんの姿が思い浮かびます。と謝野陽子さんのことを調べたり、マンホールの種類を調べたり、点字ブロックの違いを見つたり……。普段、何気なく見過ごしてしまっていたことにも着目しています。



賞 中央出版株式会社 社長賞

チューイングガム大けんきゅう

神奈川県 茅ヶ崎市立吉田小学校 2年
小宮 功嗣

甘いものが大好きな功嗣さん。ガムの種類や違いを研究しました。ガムを作っている会社に電話して聞いたり、本を読んだり、おばあちゃんからガムの作り方を教わって実際に作ったり……。とても行動力があります。ちなみに、おばあちゃんから教わった「むぎでつくったガムの味はこくなくさかった」とのこと。また、どれくらいかめば味がなくなるか、かんたんだ回数と時間を計って表にまとめていたことに驚きました。1000回を超えたものもあります。歯が痛くなるまでかんだ努力には脱帽です。



賞 優秀賞

OHツミそ汁

三重県 鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校 2年
桐生 愛梨

黒田 麻香
坂井 友香



ザリガニと遊んだ夏休み

東京都 白百合学園小学校 2年
尾田 萌香

ディゼル気どうしゃについて

愛知県 愛知教育大学附属岡崎小学校 1年
荒川 奏良

